

教科（科目）	国語（国語表現）	単位数	4単位	学年（コース）	34年次 選択
使用教科書	『国語表現 改訂版』（大修館書店）				
副教材等	『国語表現改訂版基礎練習ノート』（大修館書店）				

1 学習目標

- ・適切かつ効果的に表現する能力を育み、伝え合う力を高める。
- ・言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ・社会で使用する表現の習得を重視し、繰り返しの学習で確実な習得を目指します。
- ・表現の喜びを実感できるよう、自己表現を行う多くの機会を設けます。

3 学習計画

学 習 計 画			
単元	学 習 内 容	時間	評価方法
「書いて伝える」 「小論文・レポート入門」	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉と話し言葉の違いを理解し、適切で簡明な文を書く基礎を学ぶ。 ・具体的な場面を想定した学習を通して、文章による表現方法の基礎を学ぶ。 ・小論文・レポートの構成を学び、正しく読み手に伝わる文章の書き方を学ぶ。 	35	授業の取組 基礎練習ノート 振り返りシート 前期中間考査
「自己PRと面接」 「メディアを駆使する」	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標にあわせて、自己PRと面接のシュミレーションを行う。 ・場面と読み手を考慮した上で、自分の意見を述べる。 ・身の回りの様々なメディアについて知り、それぞれの特性をふまえた情報発信とその社会的意味について認識を深める。 	35	授業の取組 基礎練習ノート 振り返りシート 前期末考査
「声とコミュニケーション」 「聞き書き」	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで培ってきたコミュニケーションのさまざまな技術をプレゼンテーションにおいて実践する。 ・スピーチの実践を通し、話す姿勢、聞く姿勢を身に付け、相互評価を行う。 ・職業人へのインタビューをし、それを一人称にまとめる。 	35	授業の取組 基礎練習ノート 振り返りシート 後期中間考査
「会話・議論・発表」 「読書新聞」	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面に応じた会話の仕方を身に付ける。 ・自己の考えをまとめ、また他者の考えを聞きながら議論して結論を出す。 ・調べたことや考えたことをまとめ、聞き手に伝わりやすいよう工夫する。 	35	授業の取組 基礎練習ノート 振り返りシート 後期末考査

計 140 時間（50 分授業）

4 評価規準と評価方法

評 価 規 準 と 評 価 方 法				
評価は、次の5観点から行う。				
①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
漢字や語句などの基本的な事項の学習から、自分の思いを文章にしている。	スピーチや視聴覚教材を通し、適切な話し方や正確に物事を聞き取れるように努力している。	書いた文章などから思考力や判断力、表現力を身に付けようとしている。	様々な文章に触れ、内容を正確に読み取り、思考を深めている。	与えられた課題に対して、的確に答えるように努めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストおよび、授業中の発表や提出物。 ・出欠状況や授業への取り組み状況を重視して評価する。 				

5 課題・提出物等

- ・授業プリント、自己評価・相互評価シートを配付し、授業中に使用する。
- ・プリントは、当該の授業終了後に提出し、評価の対象とする。
- ・補助教材である『国語表現基礎練習ノート』は、毎回提出し、平常点に組み入れる。

6 担当者からの一言

- ・自己表現の手段はさまざまにありますが、言語による表現力を身につけ、世界を広げましょう。
- ・国語「表現」の科目名から明らかなように、とにかく書くこと、話すことに重点が置かれています。
- ・人前で表現する機会も設けます。

